

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 学校法人 就実学園		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 703-8516 岡山市中区西川原一丁目6番1号	
本票作成	部署名： 管財部 管財課				
主たる業種	分類コード	81	業種名： 学校教育		
事業の概要	大学（大学院含む）、短期大学、高校、中学校、小学校及びこども園（幼稚園・保育所）を保有し、学生、生徒及び児童合わせて5,400人、教職員数は690人である。				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	西川原校地（大学、短大、小学校、こども園）		岡山市中区西川原一丁目6番1号	
	②	弓之町校地（中学、高校）		岡山市北区弓之町14番23号	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度（令和 5 年度）	（令和 6 ）年度排出量	目標年度（令和 7 年度）
	3,418 t CO ₂	3,412 t CO ₂	3,349 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	（令和 6 ）年度排出量
	①	西川原校地（大学、短大、小学校、こども園）	2,784 t CO ₂
	②	弓之町校地（中学、高校）	628 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間： 令和 6 年度 ～ 令和 7 年度 （ 2 箇年度）			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	（ 6 ）年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	2.2 %	2.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 延床面積	原単位当たり排出量		
		基準年度	(6)年度	目標年度
		36.975 t CO ₂ /(千m ²)	36.162 t CO ₂ /(千m ²)	36.229 t CO ₂ /(千m ²)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 6 年度)	達成率等
指標の状況				

【削減状況の自己評価】

前年は年間を通じて気温の変動が大きく、空調用負荷（電気、都市ガス）が増えた。そのため学園全体の原油換算エネルギーが約4%増加した。一方で電気のCO₂排出係数が約3%下がったために相殺され、前年とほぼ同じCO₂排出量となった。また、延床面積が建物の竣工により2%増え、結果として原単位が改善した。

【推進体制】

平成21年度に学内に省エネルギー対策推進本部を設置し活動を行っている。
 具体的な省エネの進め方については、「事業者のエネルギーの使用の合理化に関する判断基準」に挙げられている項目を参考として、学内合同の委員会等で活発な意見交換を行っている。
 また、人材育成のためにエネルギー管理員研修を計画的に受講させており、修了者は現在9名となった。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(R6年度実施分)	(R6年度実施分)
1. 西川原校地	<ul style="list-style-type: none"> 大学：高効率照明（LED）への更新（CO2削減量 5t/年） GHPエアコンの更新（CO2削減量 20t/年） 355型×2基 355型×1基+560型×1基
2. 弓之町校地	<ul style="list-style-type: none"> 高校：省エネに関する調査検討（電力使用状況など）
(今後実施予定分)	(今後実施予定分)
1. 学園全体	<ul style="list-style-type: none"> 高効率照明（LED）への更新 経年小型エアコンの更新 GHPエアコンの更新（大学 355型、560型） 非化石電気の導入検討及び実施

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	有	平成22年度から操山西部学校林（102,208.27㎡）において、岡山県・岡山市の助成を受けながら、森林保護・保全を生徒と共に実施している。具体的には、竹林の整備、アカマツ（桃太郎松）の整備に取り組んでいる。
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

- 西川原校地の「大学」はベンチマーク対象の事業であるが、大学事業のエネルギー使用量は原油換算値で約850kLと少なく、基準値1,500kL未満のため現状、該当事業者にならない。
- 平成25年に太陽光発電設備（大学T館、49.5kW）を設置しているが全量売電用のため、上記【再生可能エネルギーの導入】に該当しない。
- クールビズ・ウォームビズ運動に取り組んでいる。
- 岡山県の実施するライトダウンキャンペーンに参加。